

# まちづくりに関するアンケート結果報告

## 除雪体制の充実

を望む声がつま

町では、毎年3月に18歳以上の町民の中から600人を無作為に抽出し、「まちづくりに関するアンケート調査」を実施しています。

回答いただいた町民268人（回収率47%）の皆さんから、まちづくりに対する意見や要望が寄せられていますので、その一部を要望に

対する回答と併せて紹介します。

### 重点すべき施策は？

第5次総合計画の体系による医療や福祉、農業、商業などの分野59項目から、まちづくりで重点すべきものを回答していただきました。

2年連続の大雪となったこともあり「除雪体制の整備」を望む意見が1位となりました。

### まちづくりで重点とすべき施策順位

順位	施策名	主な取組
1	除排雪体制の整備	除排雪体制の整備 住民への除雪協力
2	雇用の安定と促進	企業誘致の推進 技能協会等事業者への支援
3	農産物ブランド化の支援	ブランド商品のPR 安全・安心な農産物生産販売
4	高齢者介護サービスの充実	介護保険サービスの実施 高齢者福祉サービスの充実
5	地域公共交通の確保	路線バスの運行維持 乗合タクシー等の導入
6	国民健康保険、後期高齢者医療の安定的運営	保険事業の安定的運営 保険制度等の周知・啓発
7	農業者の育成	担い手の育成及び確保 農業開発公社の支援
8	商店街の活性化の支援	商店街消費拡大事業の支援 商店街関係組織の支援
9	高齢者の生きがい活動の充実	ゆめりあ部会等の活動整備 老人クラブ等社会参加の促進
10	防犯体制の充実	防犯意識の啓発 地域防犯活動の支援

### ●意見・要望

#### 除雪

**Q** 除雪の際、各家の入り口に置かれる大量の雪、高齢者ももちろん各家庭では大変困っています。（70歳以上女性）

**A** 除雪は皆さんの通勤通学の時間に間に合うよう、交通量が少なく作業効率の良い夜間から早朝にかけて実施しています。

町内全域で除雪を行うと一晩に約200キロメートルもの距離になり、限られた時間で作業を行わなければならぬことから、左右にかき分ける除雪をしています。

大変ご迷惑をおかけしますが玄関前の雪は、各家庭で処理をお願いします。

**Q** 除雪後の残雪量が左右の住宅で違いすぎます。向い側は雪が少ないです。（50歳以上男性）

**A** 除雪は、作業を効率的に行い、少しでも早く道路交通を確保するため、あらかじめ順路を決め行っています。

公平な除雪を心掛けて行っていますが、道路両側に残る雪の量に

違いが生じることをご理解願います。

除雪状況



**Q** 道路の雪山を排雪してほしい。お金がかかるのはわかりますが、毎年雪はねで苦労しています。（30歳代女性）

**A** 道路幅が狭い住宅地では、雪で車道が狭くなりますが、排雪には、除雪よりも多くの機械や人員を必要とし、時間も費用もかかります。

道路の積雪状況により実施を判断し、例年2回程度の排雪を行っていますので、ご理解をお願いします。

**Q** 通学路だけは歩けるように除雪を望みます。交差点もおそろしい状況です。(30歳代男性)

雪捨て場の近くに住んでおり、排雪のダンプが危なく、子どもの下校が心配です。歩道の除雪をお願いします。(30歳代男性)

**A** 町では、歩道用除雪車(ミニロータリ)2台で通学路や主要公共施設のある歩道の一部を除雪しています。(約11キロメートルあります。)

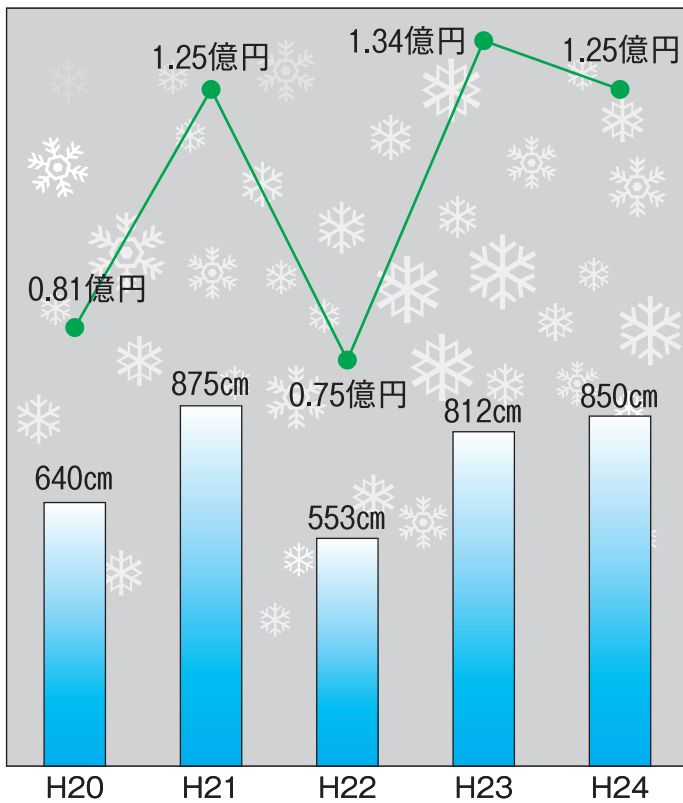
市街地で歩道を除雪する場合は、車道と歩道間に雪の堆雪スペースが必要なため、西2線や南4号線のような広い道路でなければ、逆に車道幅が確保できなくなります。

また、除雪車の台数からも、今のところ歩道除雪路線の拡大は難しい状況です。

道路状況の把握に努め、積雪状況により、適切に除雪や排雪による道路の拡幅を行い、歩行者や通行車両の安全を確保していきます。

## 年間降雪量と除排雪費用

(除雪機械経費を除く)



## 乗合タクシー

**Q** 毎日、通学で利用する学生には定期券があればいいと思います。部活で帰りのタクシーを利用できないので、片道分定期とかあれば利用しやすいです。(40歳代女性)

**A** 定期券の発行や運行時間などの要望については、地域公共交通活性化協議会で検討します。

この協議会は、行政区長、老人クラブ、商工会や社会福祉協議会など、幅広い委員で構成され、公共交通のあり方について定期的に協議しています。

乗合タクシーは、今年の4月から本格運行したところであり、これからより良い地域公共交通にしていきたいと思っています。



## 歩道の凹凸

**Q** 子供が歩いて国道275号の新十津川橋を渡り通学するのですが、除雪で歩道のレンガが欠けて凸凹しているので、歩きやすいように整備してほしいです。

(30歳代女性)

**A** 新十津川橋の維持管理は国が行っており、町では国に補修してもらうよう要望しています。

## 節電

**Q** 菊水区の通りのナトリウム灯について、防犯の事もありますが、電灯の数を現在の30%は減らしても良いと思います。

(70歳以上男性)

**A** この箇所は、平成22年に既存施設を有効利用して、水銀灯2灯式から、電気代が安く、害虫誘引を軽減できるナトリウム灯1灯式に改修しました。

30%消灯する件ですが、街並みの景観や防犯上の問題が生じる可能性がありますので、行政区と協議の上、間引き等も含め検討したいと思います。

菊水区の街路灯



## ごみ

**Q** 農村地区ではほとんどステーション収集が実施されていますが、年々高齢者世帯が増加すると思われるので、各戸の戸別収集に出来ないでしょうか。

(70歳以上男性)

**A** 平成15年度からのごみ有料化に伴い、ステーション収集から戸別収集に変更となりましたが、収集の経路の関係から一部の地区については、ステーション収集の協力をいただいております。

公平性の観点や高齢化の問題を

## 公園

以前から検討していますが、町の経費負担及び収集時間の関係からしばらくの間、現在の収集方法で実施したいと考えております。

ご不便をおかけいたしますが、ご理解ご協力をお願いします。

**Q** 中央公園のターザンロープを新しくして残してください。

(20歳代女性)

菊水区の公園（中央公園、菊水児童公園）の遊具が、かなり古いので、整備して欲しいです。

(30歳代男性)

**A** 公園の遊具などの施設の改修計画を策定しており、今後は計画に基づき改修する予定です。

また、中央公園の遊具は、設置から30年が経過し危険な状態にあったため、利用状況から、木製遊具については昨年撤去し、鋼製複合遊具については、ジャンゲルジムと滑り台に更新しました。

ターザンロープは、新たに設置する予定はありませんが、児童館にありますので是非ご利用ください。

## 公営住宅

**Q** 公営住宅への入居を希望していますが、なかなか入居できません。

公営住宅の新築計画はあるのでしょうか。(40歳代男性)

**A** 現在、トップ団地、文京団地、青葉団地については、入居希望者が多いことから順番待ちとなっており、それ以外もほぼ空き住宅がない状況です。

空き住宅が出た場合は、順次入居希望者に照会を行っています。また、公営住宅の新築計画は現



中央公園

在ありませんが、耐用年限が経過し、老朽化の進んでいる公営住宅について、今後の改修計画を策定しているところだ。



## アパート

**Q** 町外から新十津川町に就職する独身者の住宅に空きが少ないです。滝川市でアパートを借りて通っている若者が多いと思うので、アパートを増やすと良いと思います。(30歳代男性)

**A** 町では、平成17年度から、「共同賃貸住宅建設促進事業」を実施し、民間アパートの建設を促

進しています。

助成額は、1戸当たり40から60万円です、これまでに5棟24戸の実績があります。

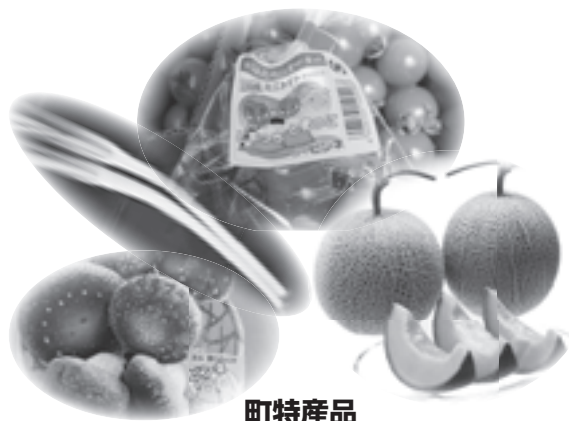
## 買い物

**Q** お店やバスの本数が減り、4月からは移動販売車もなくなり、病院や買物に不便を感じています。せめて移動販売車でもあれば幸いです。毎日の食料が本当に困りますのでよろしく願います。(70歳以上女性)

**A** 以前、移動販売について検討し、運行経費と利用者数等の見込みから、移動販売車の運行は現状では難しいとの結論になりましたが、現在、高齢者や障がい者の見守りの体制づくりに取り組んでおりますので、その中で買い物対策についても検討する予定です。なお、電話等で注文し、配達してくれるサービスを行っているお店がありますので、利用してはいかがでしょうか。

## 特産品のPR

**Q** 地元では米、メロン、ミニトマトなどの特産品があるのに販売されている店がありません。道の駅のように気楽に立ち寄れる所があれば、名産品も買う事が出来るし新十津川町の名前も、もっと知られると思います。(60歳代男性)



町特産品

**A** お米とメロンについてはピンネ農協ストアとくじら館で、ミニトマトについてはピンネ農協ストアで季節限定ですが販売しています。

このほか、生しいたけ、軟白ね

ぎなどの特産野菜もピンネ農協ストアで販売しています。

町内には道の駅はありませんが、町特産品をくじら館で販売しており、役場の近くにハムソーセージ、いかの塩辛などを販売している店もありますのでぜひご利用ください。

## 文化スポーツ

**Q** ゆめりあの行事が少ないです。夜のサークルもほしいです。

気軽にに行ける、運動サークルを。(50歳代女性)

**A** ゆめりあでは、概ね60歳以上の町民を対象とした生きがい活動の「ゆめりあ部会」を支援していますが、夜の活動はありません。

個人的な運動専用室として、体力増進室が利用できます。

また、夜の運動サークルとしては、スポーツセンターや改善センターで団体による活動が行われています。